

## 7. 農山漁村交流の促進について

# 「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」活用事例及び効果イメージ



## 都市

- ・団塊の世代の大量退職
- ・心の豊かさの重視

- ・情報不足の解消
- ・人的ネットワーク不足の解消
- ・活用施設の不足の解消



## 農山漁村

- ・活力の低下
- ・暮らしやすさ、過ごしやすさ



### ・観光者等の一時的・短期的滞在

- ・年に1～3ヶ月程度の滞在
- ・平日は都会、休日は農山漁村

- ・移住、・UJターン
- ・既地域住民の安定

地域産物販売・提供施設

直販施設

廃校・廃屋等活用施設

クラインガルテン  
(滞在型市民農園)

防災安全施設  
(津波避難施設)



パート雇用の創出

農山漁家所得の向上

都市住民が休日滞在地域でボランティア

自家製の収穫物栽培による農業への関心

安全な地域づくり

## 定住



簡易排水施設

快適な生活環境づくり

漁村体験学習施設

自然環境活用施設  
(釣り施設)

## 二地域間居住

UJターンの可能性

新たな需要の創出

## 交流



漁船操縦者の公募



管理人の雇用

森林浴歩道

地域資源活用起業支援施設  
(ダイビング施設)

電線地中化等により整備された町並み

CATV等の整備

情報基盤施設

木材加工実習施設



インターネットを活用した情報発信

後継者育成

自然の魅力体感

インストラクターの雇用

都市と同様の社会基盤の下での生活・仕事  
都市への情報アクセス

## 地域活性化に資する基礎づくり(生産基盤及び施設の整備等)

農業生産施設(ハウス)

特用林産物生産施設

生産基盤整備

林内路網整備

船舶離発着施設(待合所)



# 子ども農山漁村交流プロジェクト

～120万人・自然の中での体験活動の推進～

※ 主な関連事業を記載。  
金額は平成20年度概算決定額

## 農林水産省

- 子どもたち1学年単位で受入が可能な地域づくりを全国的に拡大
  - ・モデル地域(40地域)を核とした受入地域の整備に向けた総合的な支援
  - ・受入地域情報等の情報提供・受入推進体制の整備等

【広域連携共生・対流等対策交付金(拡充)	973百万円の内数
【農山漁村地域力発掘支援モデル事業(新規)	1,110百万円
【賑わいある美しい農山漁村づくり推進事業(新規)	68百万円の内数
【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(拡充)	30,546百万円の内数

環境省

協力・支援

支援(モデル地区の整備支援、情報提供等)

## 農山漁村

支援  
(情報提供等)

### 1週間程度の宿泊体験

小学生約120万人を目標  
(約2万3千校で展開)とし、  
今後5年間で取組を推進

推進

全国推進協議会

都道府県推進協議会

活動推進に向けて  
基本方針等を検討

宿泊体験活動の  
送り側、受入側の  
連絡調整(モデル  
連携)

受入地域の整備  
の推進に向けた  
連携

## 小学校

支援  
(情報提供等)

支援(活動支援・  
情報提供等)

## 総務省

- 地域の活力を創造する観点等から、長期宿泊体験活動の推進に向けた取組に対して支援
  - ・受入地域のコミュニティ、市町村、都道府県等に対する支援(情報提供等)、気運醸成等
  - ・地方独自の取り組みへの積極的な支援

【都市・農山漁村の教育交流による地域活性化推進等事業(新規) 17百万円】

## 文部科学省

- 豊かな人間性や社会性の育成に向け、小学校等における長期宿泊体験活動の取組を推進
  - ・長期宿泊体験活動を実施する小学校等に対する支援(活動支援・情報提供等)
  - ・体験活動を推進するための課題等を検討

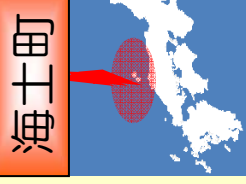
【豊かな体験活動推進事業のうち  
農山漁村におけるふるさと生活体験推進校(新規) 972百万円】

連携

# 海士地区活性化計画（島根県海士町）

## 現状と課題

海士町は日本海の島根半島沖合約60Kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ中ノ島を「海士町」といい1島1町の小さな島であり、他の農山漁村と同様に基幹産業である水産業の衰退、超過疎化・超少子高齢化により、地域の活力が低下している。



産業振興及び活性化計画の目標である交流人口や定住者の増加、特産品の販売量を増加させるためには、必要な施設整備を町が行い、地区内産業の発展及び地域住民の意識向上を図ることが重要と考える。

このため、廃校廃屋を活用した梅加工等施設や農林水産物処理加工施設等の整備を進め既存の特産品と連係し、地区内の活性化・特産品販売量の増加を図る。

### 既存の特産品

いわがき香香



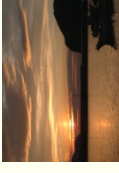
CAS商品



隠岐牛



### 海士の豊かな自然



## 取組の内容

交流人口の増加及び地域産物の販売量の増加を目的とした7つの事業を展開します。



世界一の梅干しづくり  
廃校・廃屋等改修交流施設



干しナマコを特産品に  
農林水産物処理加工施設



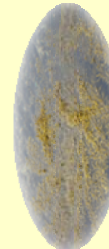
観光型定置網  
農林水産物集出荷貯蔵施設



農業の若手育成支援  
新規就農者技術習得管理施設



いわがき春香の発展  
農林水産物処理加工施設



CO2削減など、海藻を  
テーマに都市との交流  
地域資源活用交流促進施設



福来茶を特産品に  
農林水産物処理加工施設

## 取組の効果

活性化計画の最終年度H23年度には、計画区域内における交流人口を約144%増加させる。また、地域特産物であるいわがきや干しなまこなどのブランド化を図り、特産物の販売量を約42t（約143%）増加させる。

**ピンチはチャンス！ハンディキャップをアドバンテージに！**